

なによりも健やかな暮らしのために

Sawai Group Holdings Co., Ltd.

個人投資家向け IRセミナー

2022年12月

東京証券取引所市場 プライム市場
証券コード:4887

sawai

1. サワイグループの概要
2. 「ジェネリック医薬品」とサワイの存在意義
3. 製薬業界を取り巻く環境とサワイの強み
4. 社会課題解決に向けた取り組み
5. 成長戦略、株主還元

1. サワイグループの概要
2. 「ジェネリック医薬品」とサワイの存在意義
3. 製薬業界を取り巻く環境とサワイの強み
4. 社会課題解決に向けた取り組み
5. 成長戦略、株主還元

- 沢井製薬を中核とする持株会社
- ジェネリック医薬品事業を中心に、社会とともに持続的に発展するヘルスケア企業グループを目指し2021年4月に持株会社体制に移行

会社名 サワイグループホールディングス株式会社

創業 1929年4月

設立 2021年4月

資本金 100億円

本社 大阪市淀川区

上場市場 東京証券取引所市場 プライム市場
(証券コード:4887)

代表者 代表取締役社長 末吉 一彦

事業内容 グループの経営管理および
関連する業務を担う持株会社

従業員数 2,968名 (連結、2022年3月末)

業績 売上収益 1,938億円、コア営業利益 263億円、営業利益△359億円
(連結、2022年3月期)

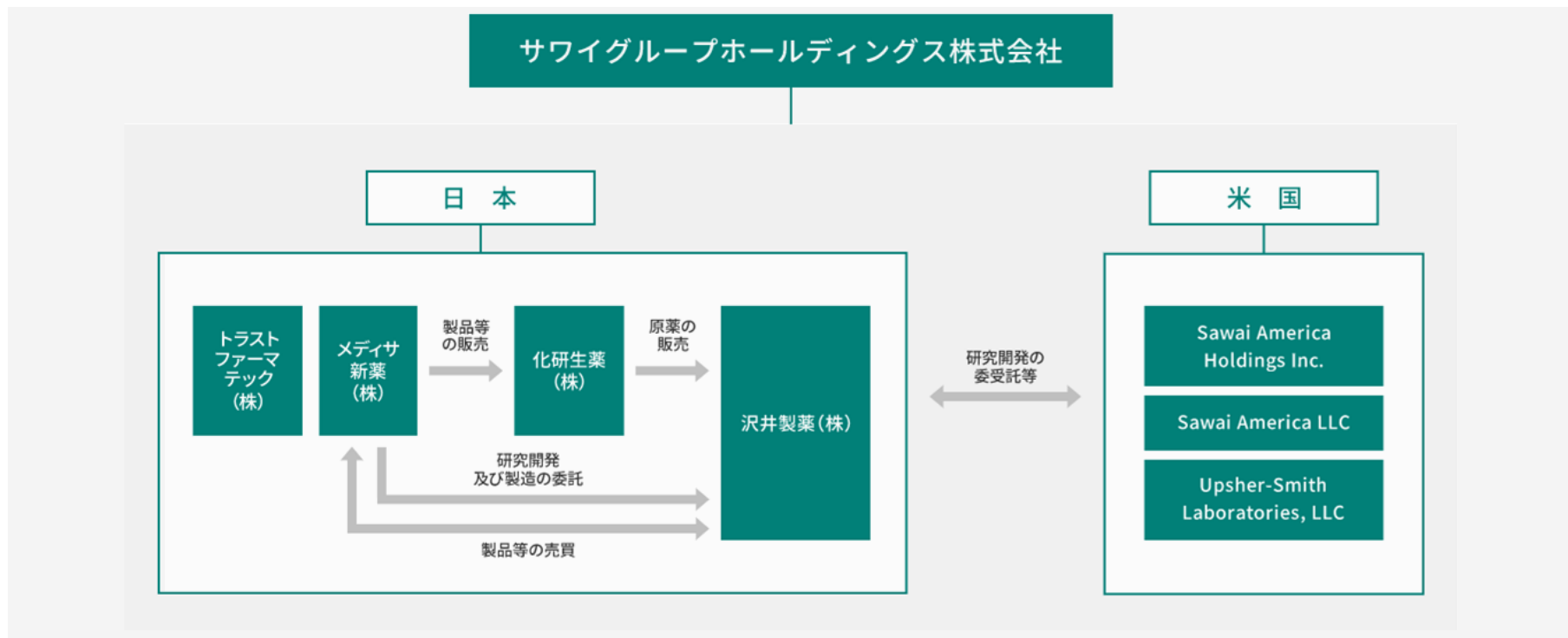
■ 企業理念

なによりも健やかな暮らしのために



本社ビル外観

- 日本国内、米国にてジェネリック医薬品を中心とした医療用医薬品の製造販売を展開



sawai 沢井製薬株式会社

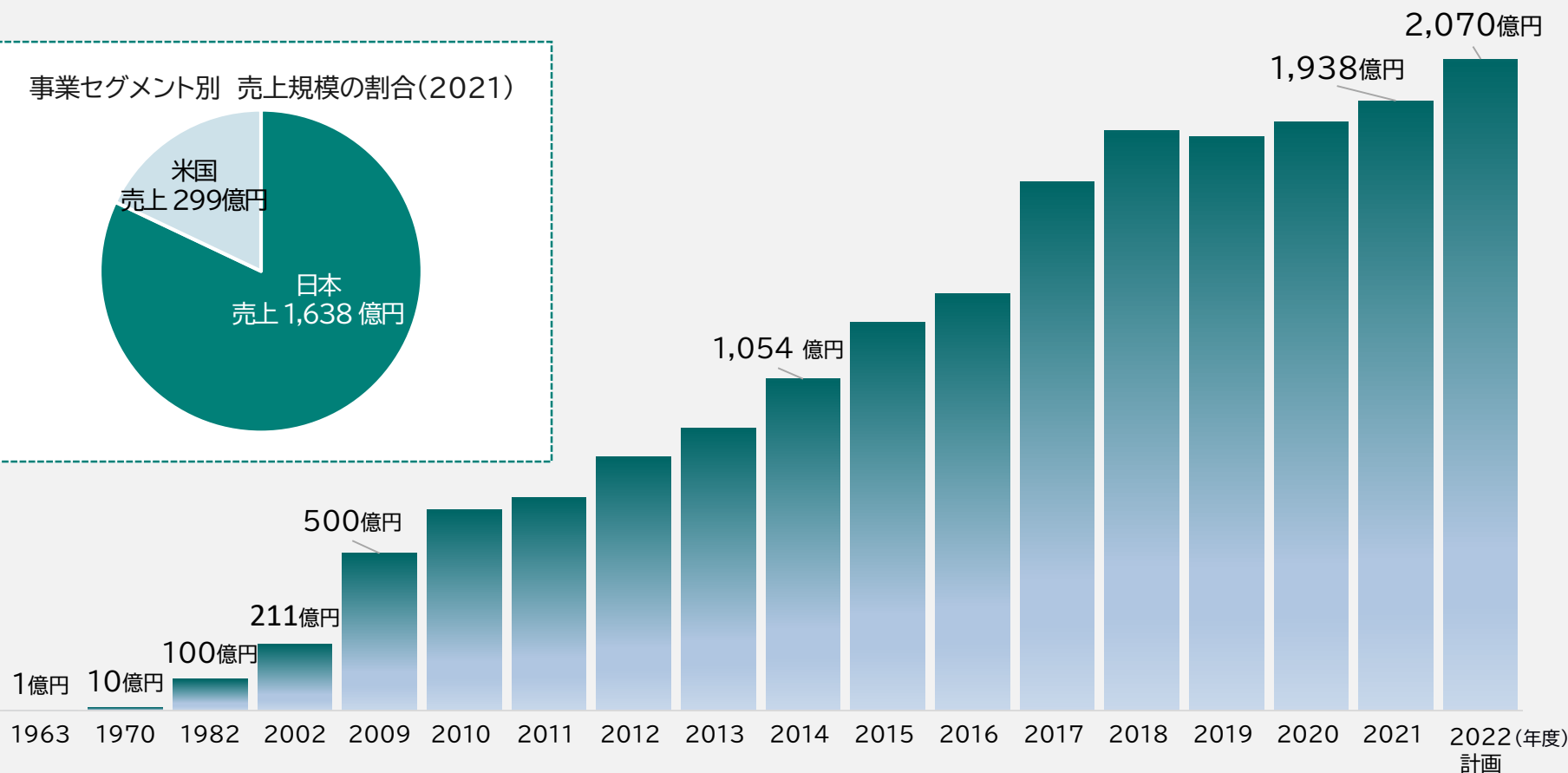
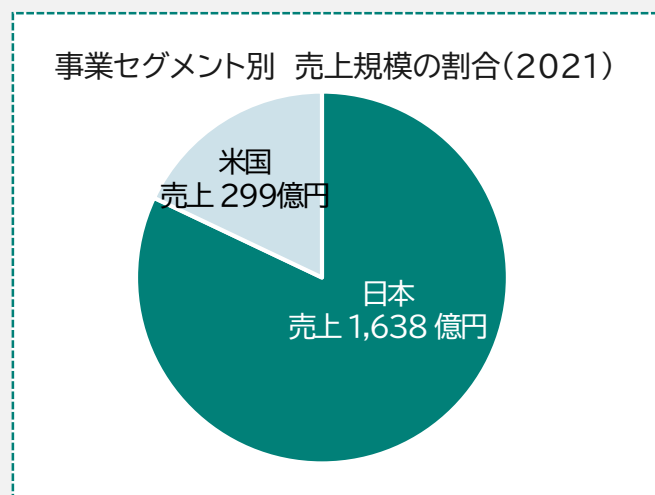
- 1948年設立の医療用医薬品メーカー
- 高品質・高付加価値のジェネリック医薬品の製造・販売を通じて、少子高齢化や医療の高度化に伴う医療費の増大という社会的課題の解決に貢献

UPSHER-SMITH Upsher-Smith Laboratories, LLC

- 1919年に設立、創業100年の歴史を持つ米国本社ジェネリック製薬企業
- 市場シェア上位の製品や製造難度の高い徐放性製剤を有し、独自のポジションを構築

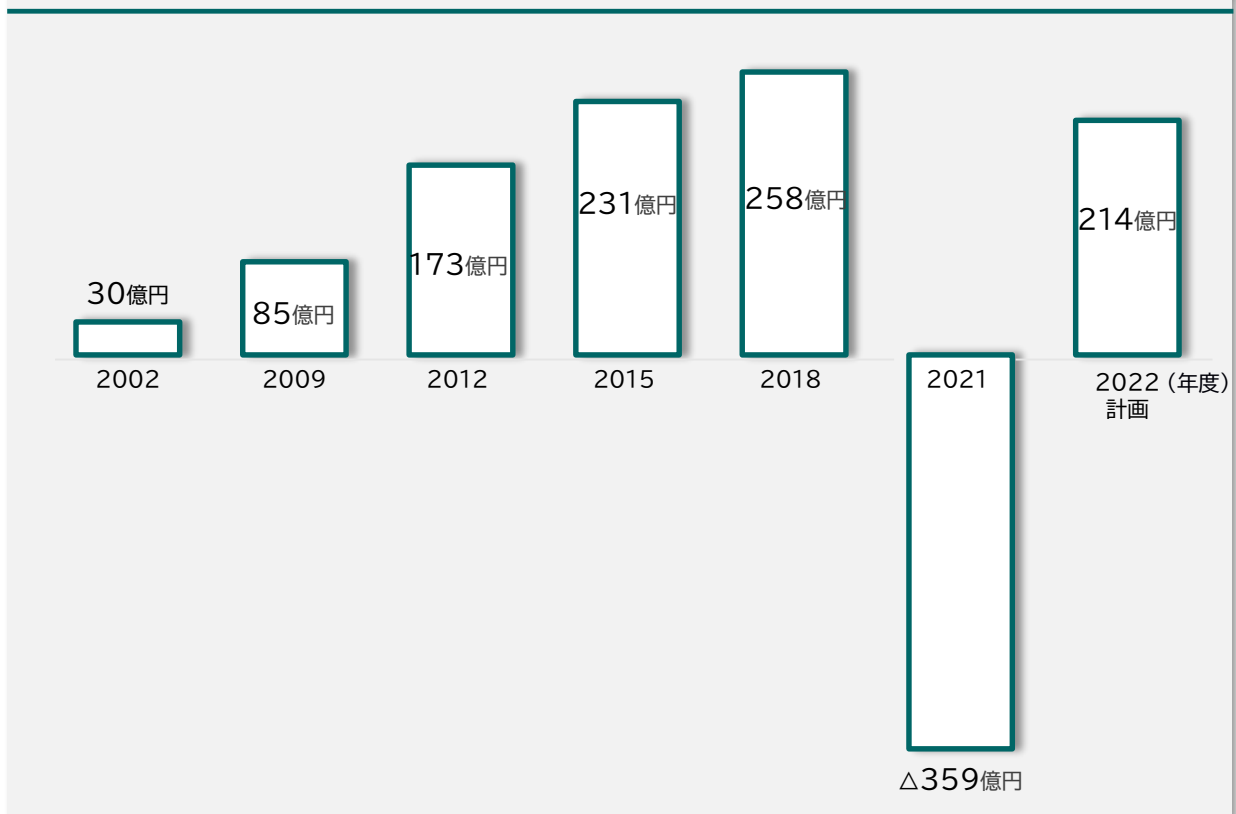
- ジェネリック医薬品の需要拡大を見据えて実施した先行投資が奏功し、着実に成長
- 2017年5月にUpsher-Smith社を買収し、米国市場に本格進出

売上収益

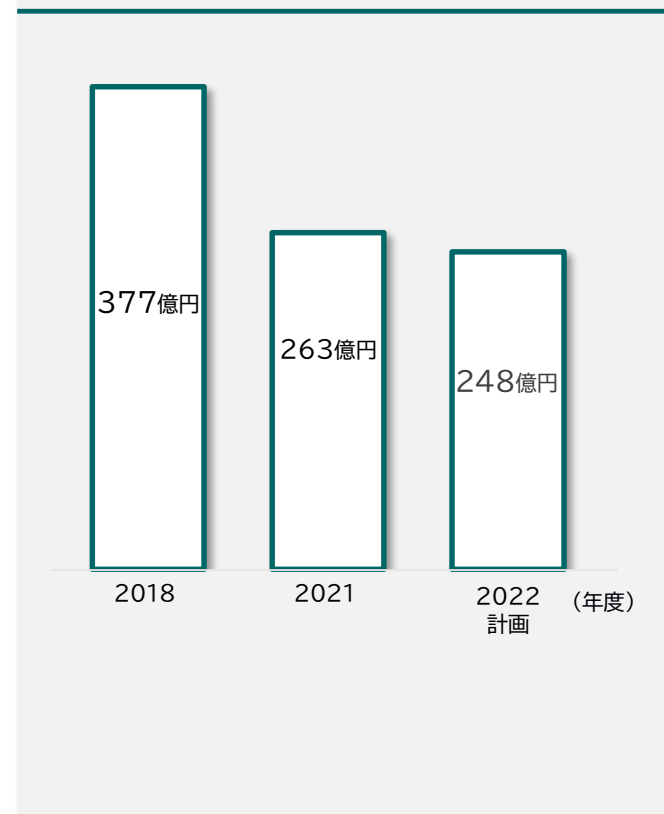


- 直近は米国事業での大幅減損により、営業利益は赤字
- 中長期では、国内ジェネリック市場でのシェアアップにより、さらなる利益の拡大を目指す

営業利益



コア営業利益



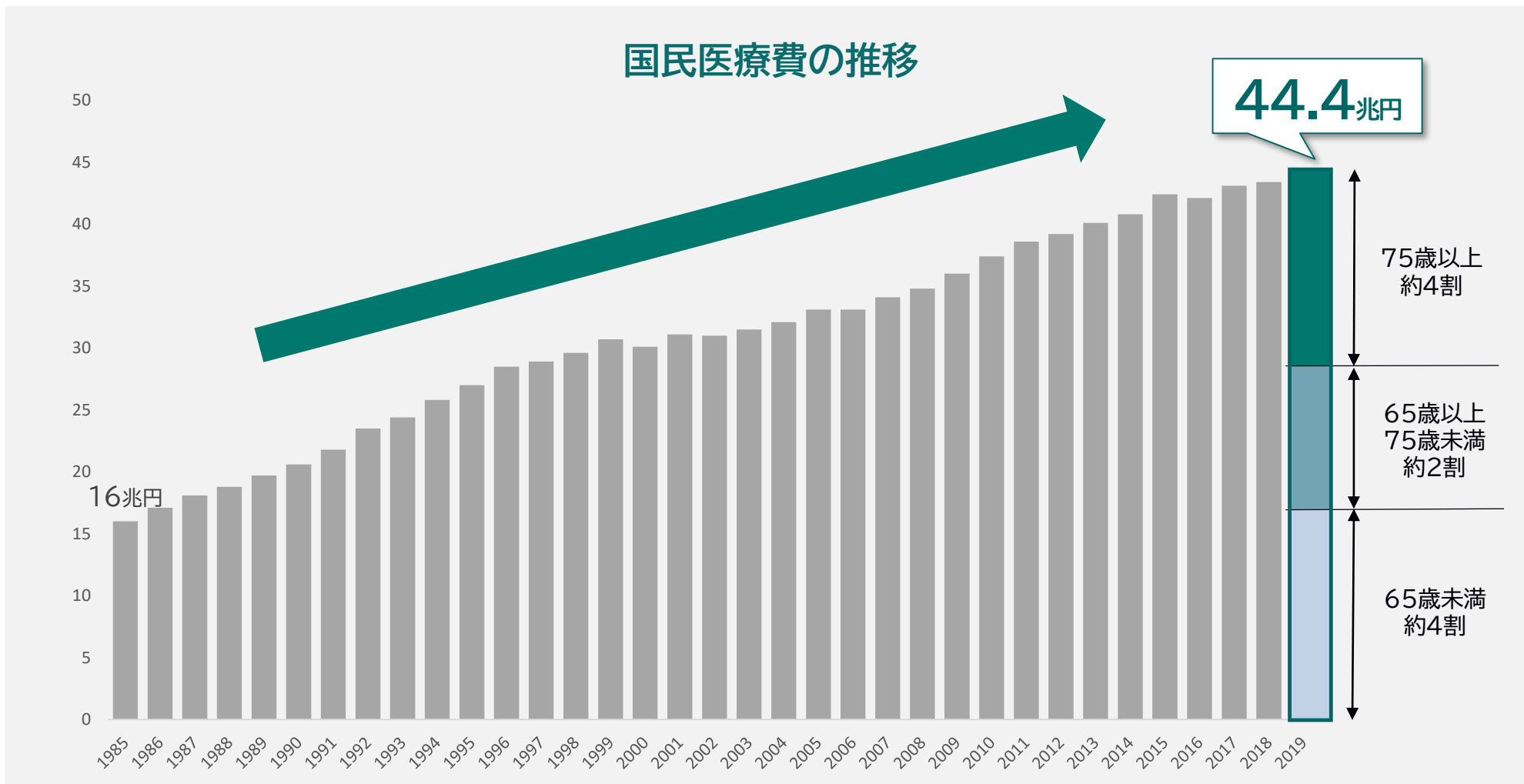
※1 コア営業利益は、営業利益から償却費・減損損失などの非経常的な要因等による損益を除いて算出

※2 2018/3期以降 IFRS基準

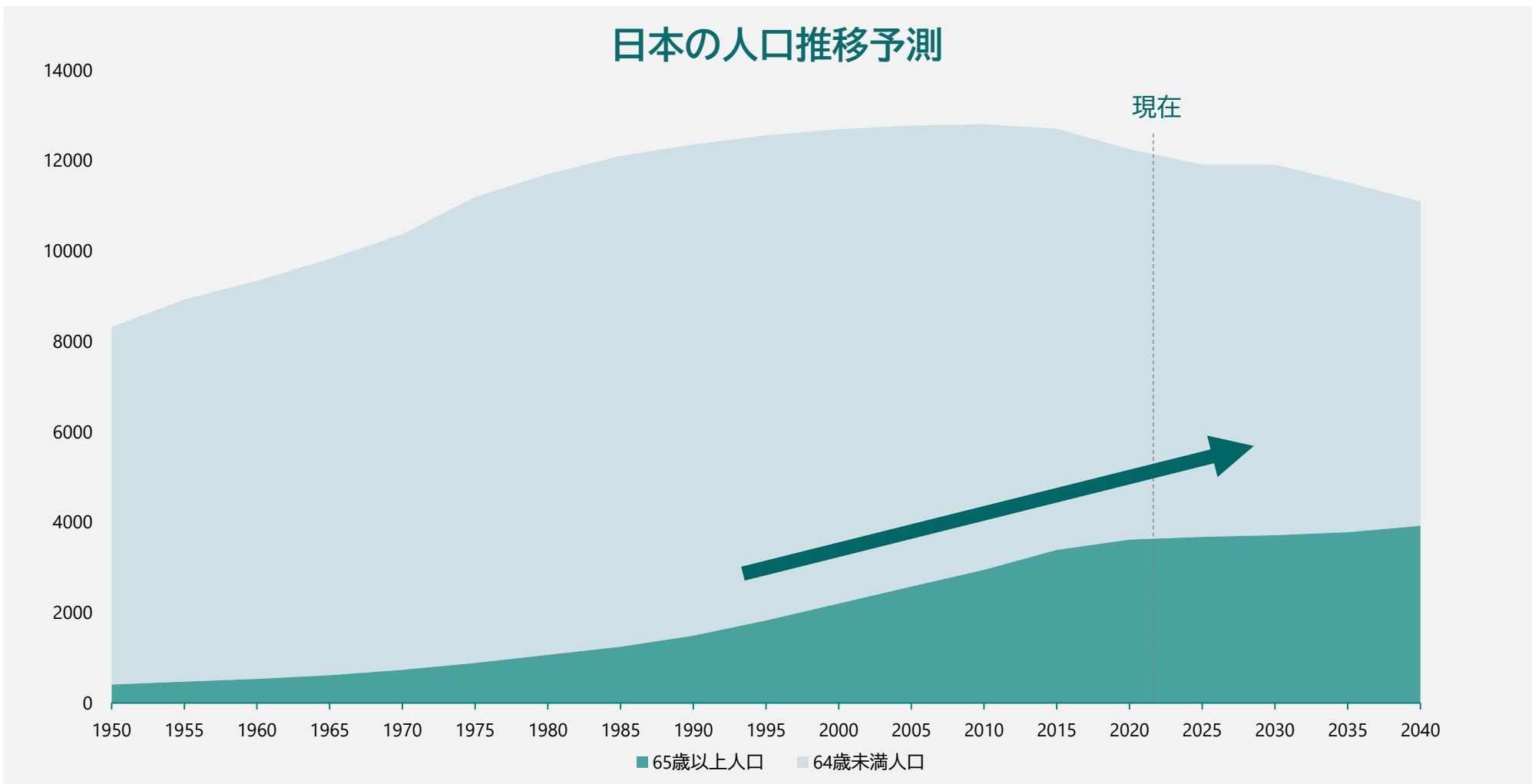
1. サワイグループの概要
2. 「ジェネリック医薬品」とサワイの存在意義
3. 製薬業界を取り巻く環境とサワイの強み
4. 社会課題解決に向けた取り組み
5. 成長戦略、株主還元

ジェネリック医薬品とは？

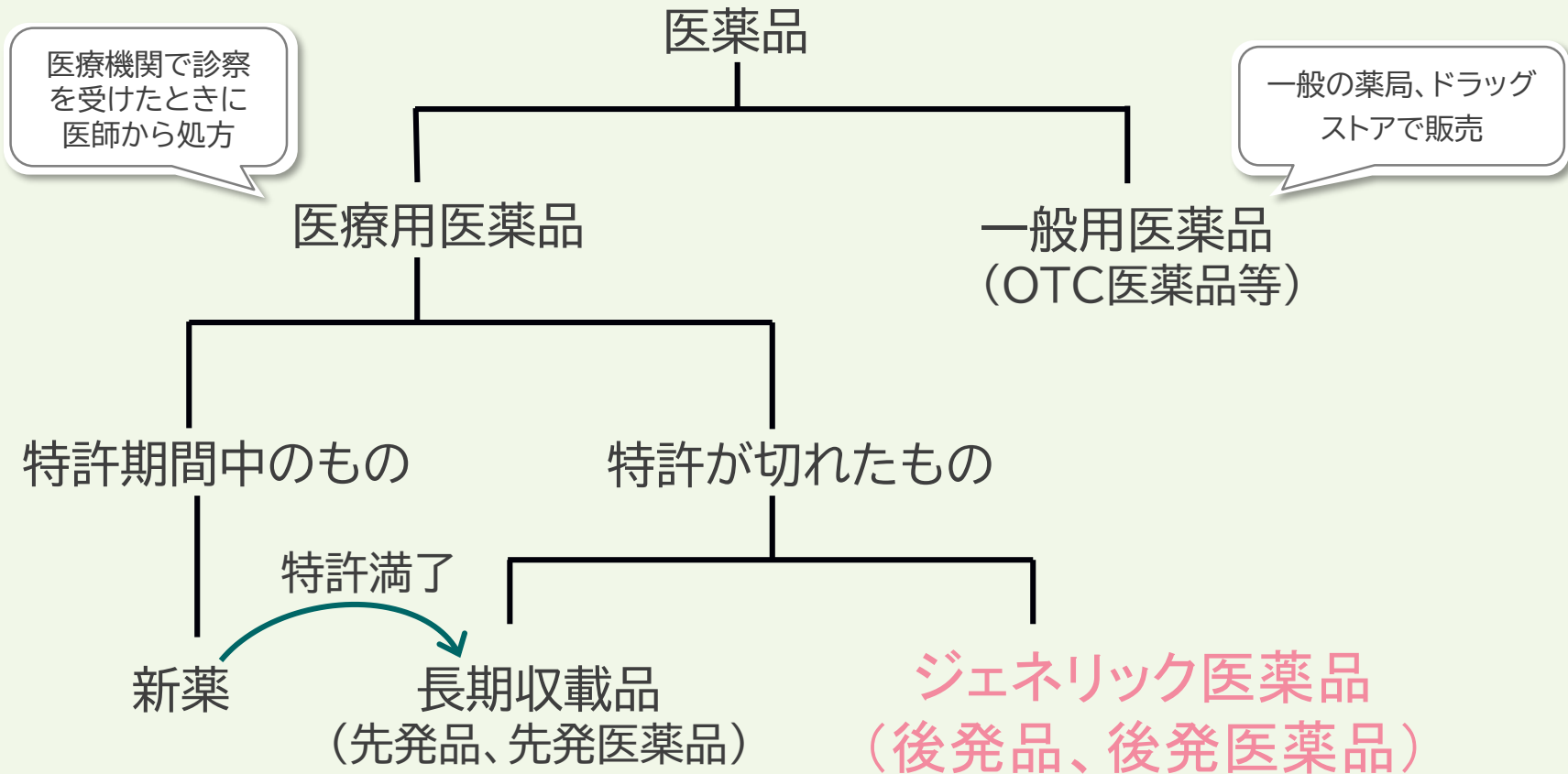
- 高齢化に伴い国民医療費は年々増加
- 医療費44.4兆円のうち薬剤費は約10兆円を占める



- 総人口は減少するが65歳以上の人口は急速に増加



出典：総務省「統計からみた我が国の高齢者(65歳以上)」をもとに沢井製薬作成



- 医療費を縮小できるジェネリック医薬品への切り替えを国が推奨

ジェネリックとは？

 **新薬と同等の効き目で価格が安いお薬です**

ジェネリック医薬品は、新薬と同じ有効成分を同じ量使用してつくられており、**効き目や安全性が新薬と同等である**と確認されています。



ジェネちゃん®

ジェネリック医薬品の特徴

有効成分	有効成分の量	効き目	安全性	お薬代	形状・色・味
新薬と 同一	新薬と 同一	新薬と 同等	新薬と 同等	新薬より 安い	飲みやすく 工夫された製品 もあります

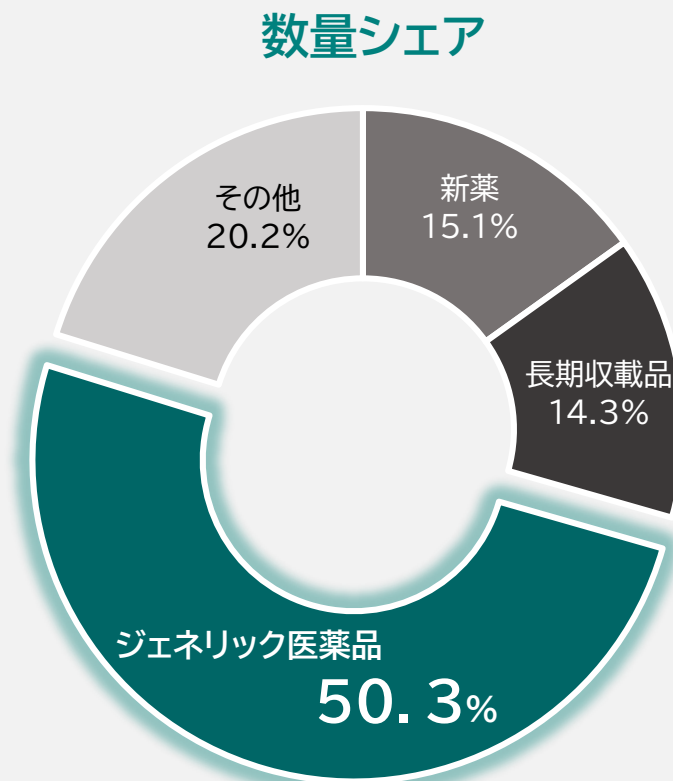
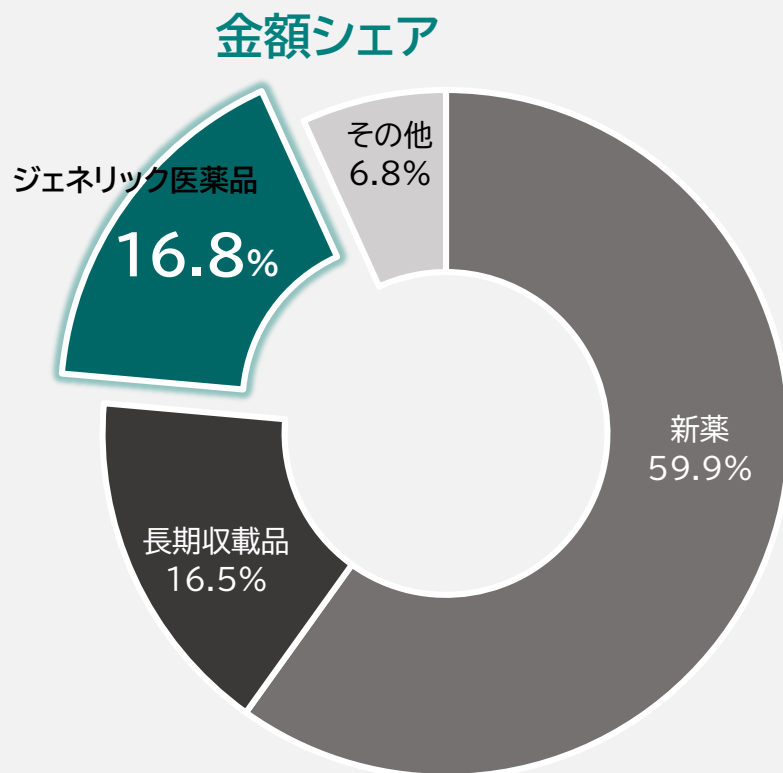
また、**新薬と比べて開発にかかる費用が少ないため、お薬代が安くなります。**



※欧米では一般名 (generic name) で処方されることからジェネリック医薬品と言われている。

- 金額シェア **16.8%**に対して数量シェアは**50.3%**を占める

医薬品シェア内訳



出典:厚生労働省「令和4年度薬価基準改定の概要」より沢井製薬作成

148億

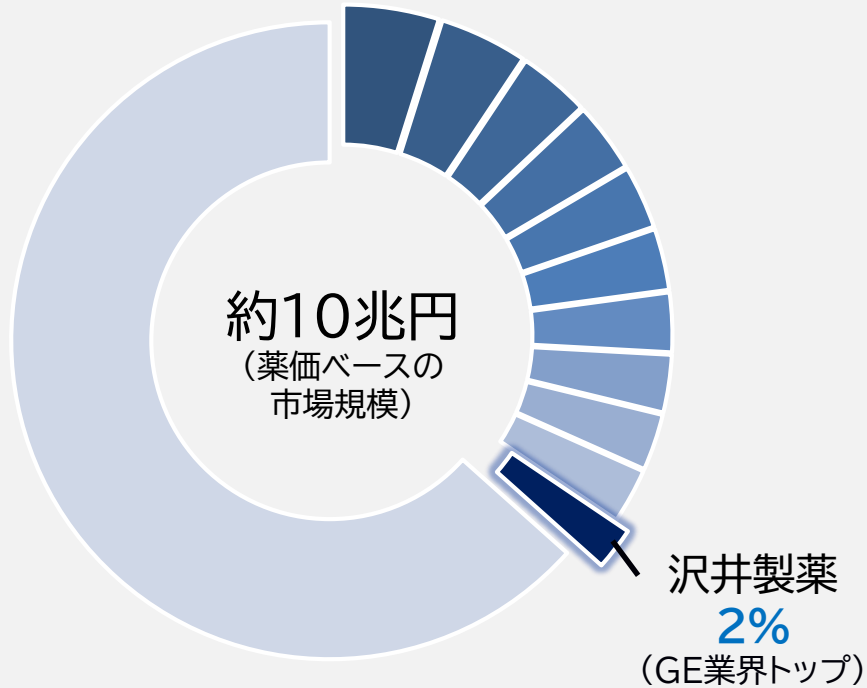
148億錠

= 沢井製薬の年間販売数量

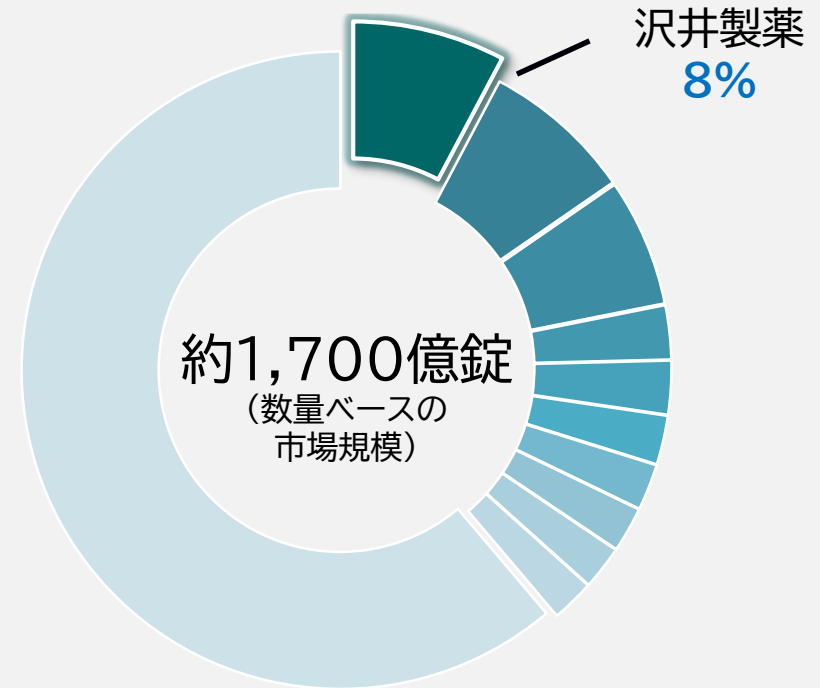
- 沢井製薬の医療用医薬品供給数量シェアは医薬品市場全体トップの**8%**

医薬品シェア内訳

金額シェア



数量シェア

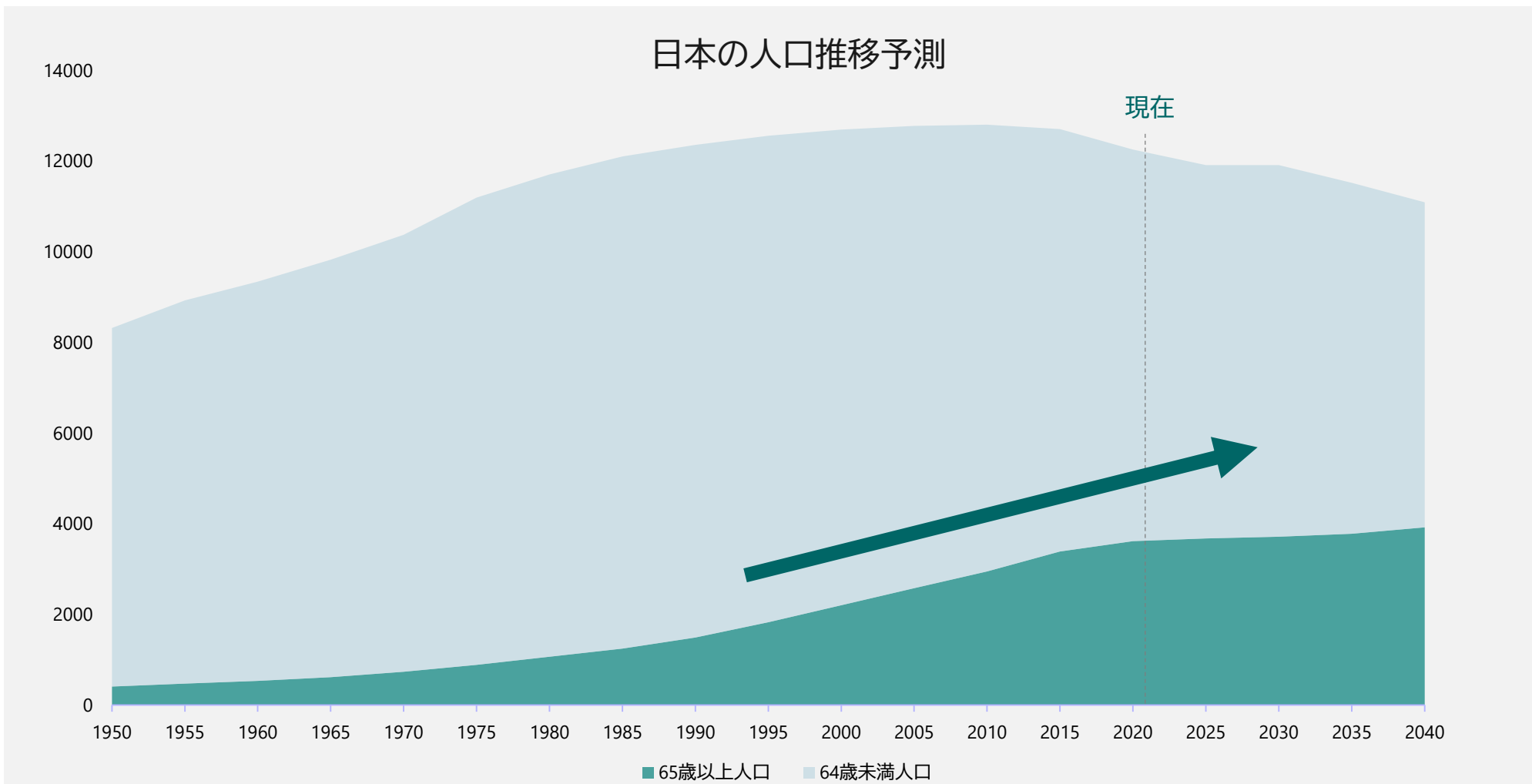


※OTC医薬品除く

1. サワイグループの概要
2. 「ジェネリック医薬品」とサワイの存在意義
- 3. 製薬業界を取り巻く環境とサワイの強み**
4. 社会課題解決に向けた取り組み
5. 成長戦略、株主還元

1. 市場成長性

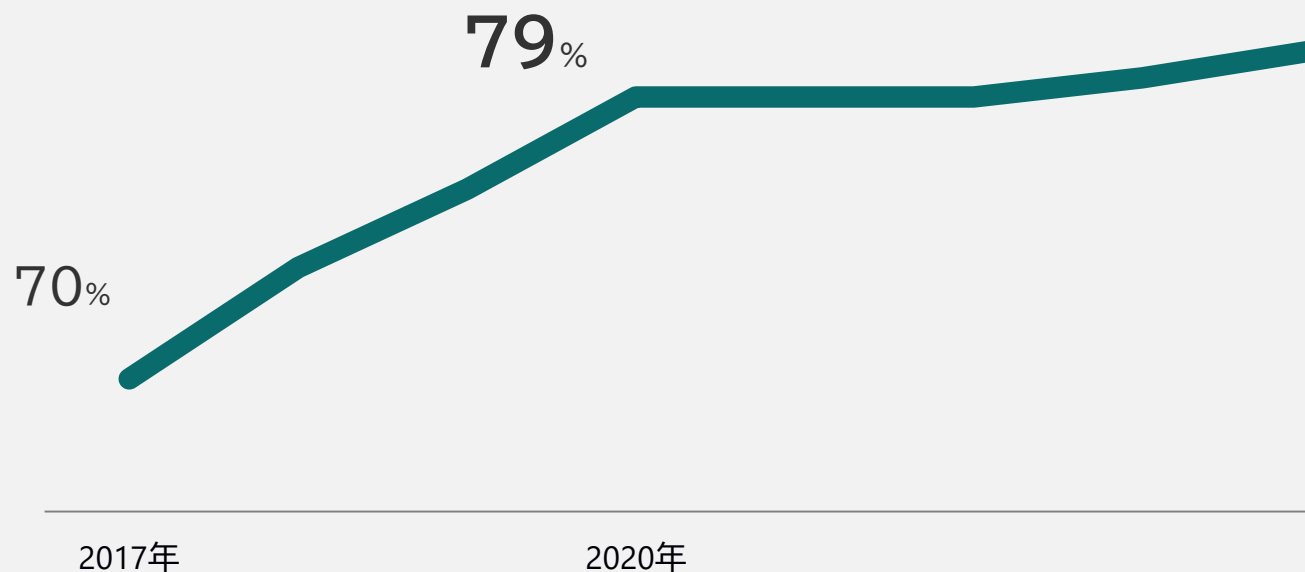
- 総人口は減少するが65歳以上の人口は急速に増加



出典：総務省「統計からみた我が国の高齢者(65歳以上)」をもとに沢井製薬作成

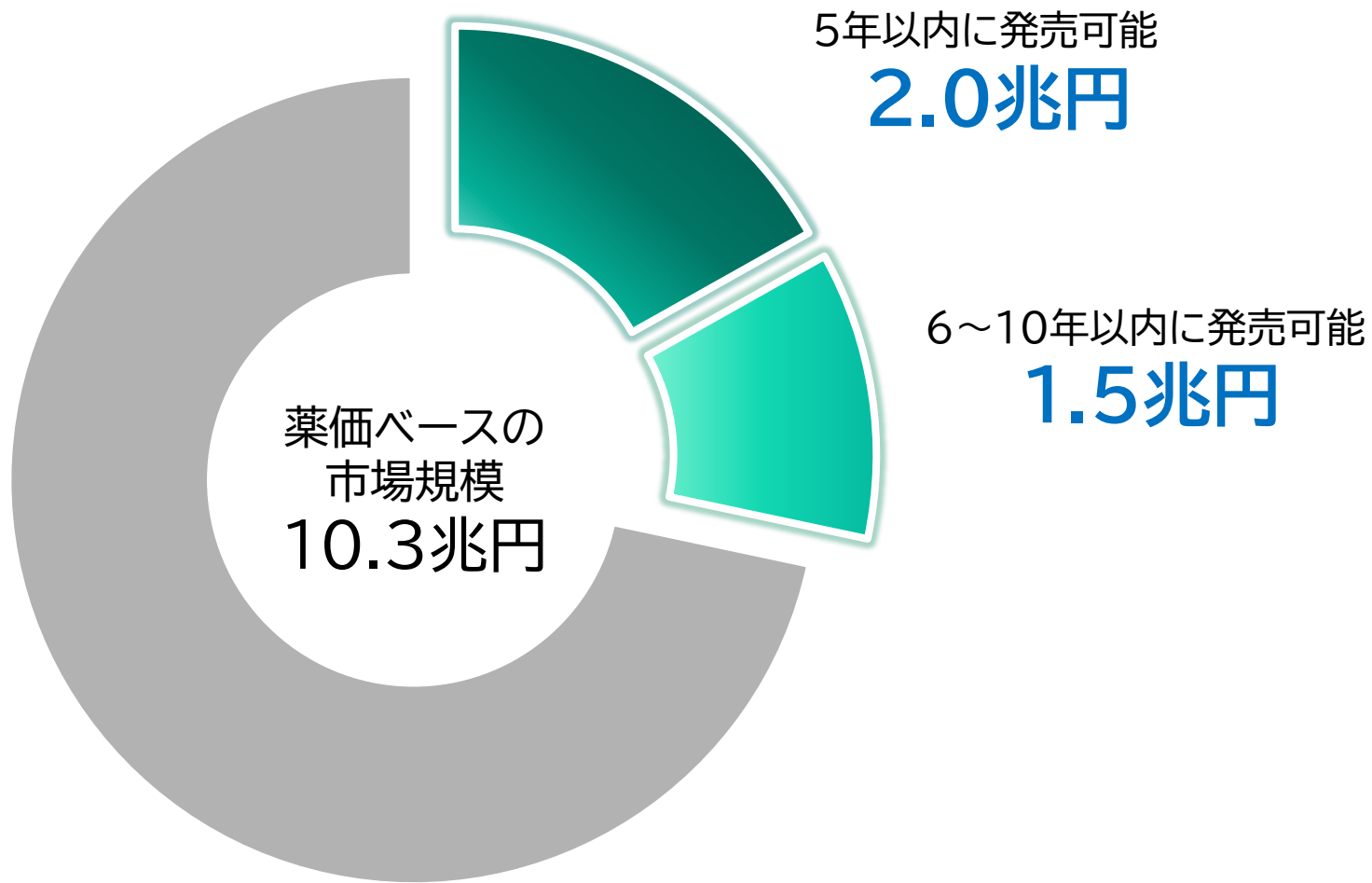
- 2017年以降3年間で数量シェアは80%近くまで上昇
- 今後は成長鈍化を見込むものの一定程度の需要拡大を予想

国内ジェネリック医薬品の数量シェア推移



*数量シェアは当社推計値

- 今後もジェネリック医薬品市場は拡大

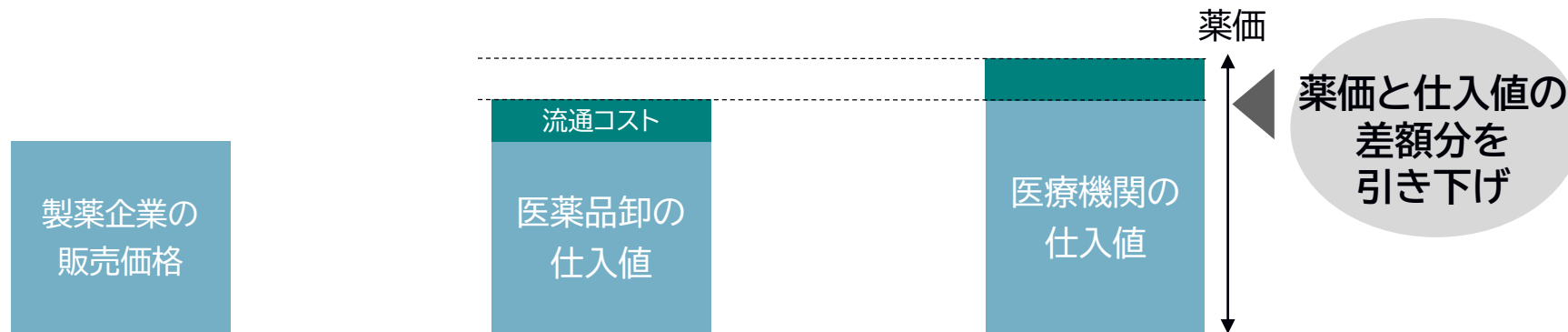


Copyright © 2021 IQVIA.
JPM 2021年3月MATをもとに沢井製薬分析(無断転載禁止)

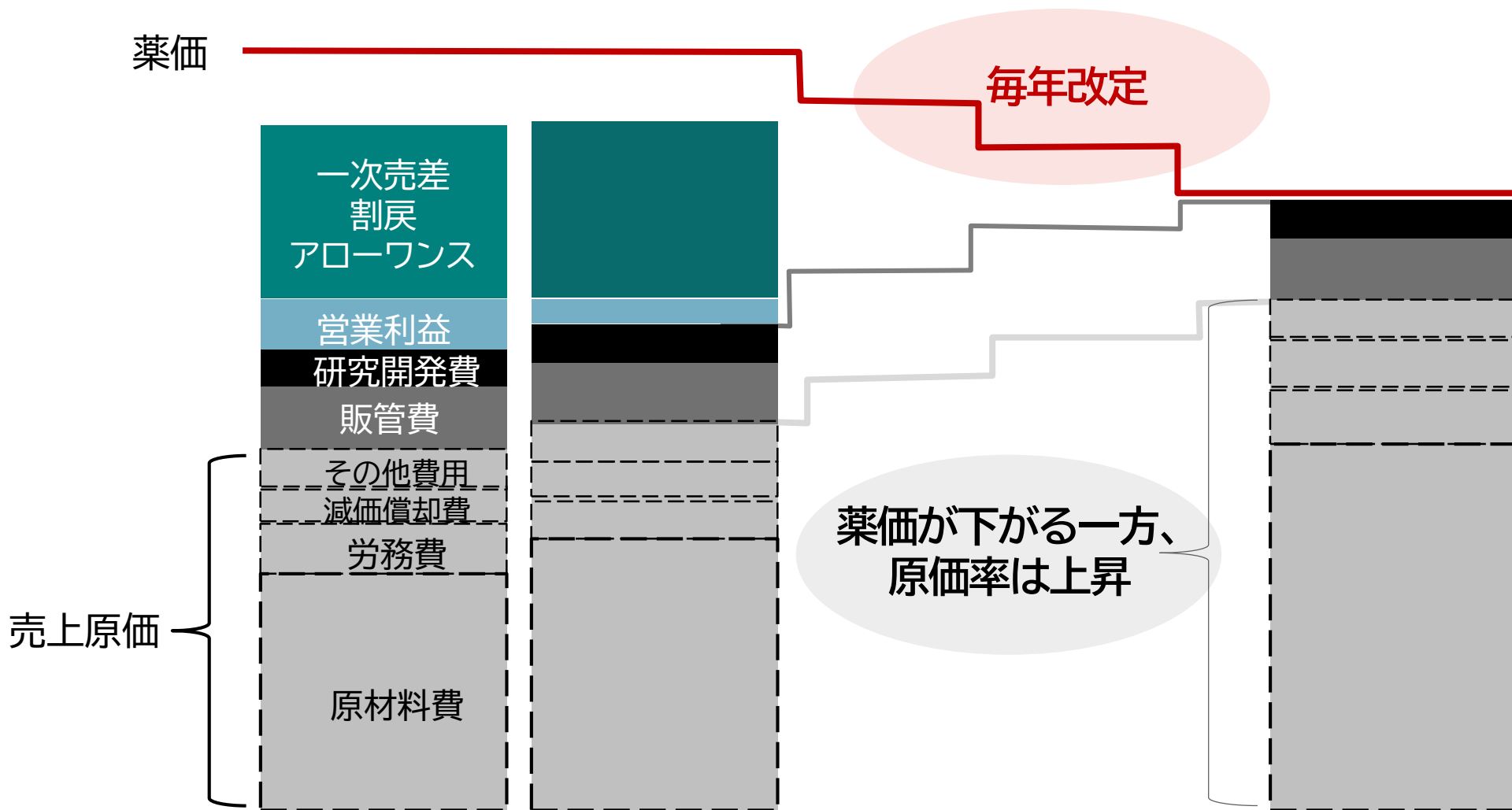
2. 薬価基準の改定

- 医療機関が卸から購入した価格を調査し、それに合わせて薬価が引き下がる

薬価改定のイメージ

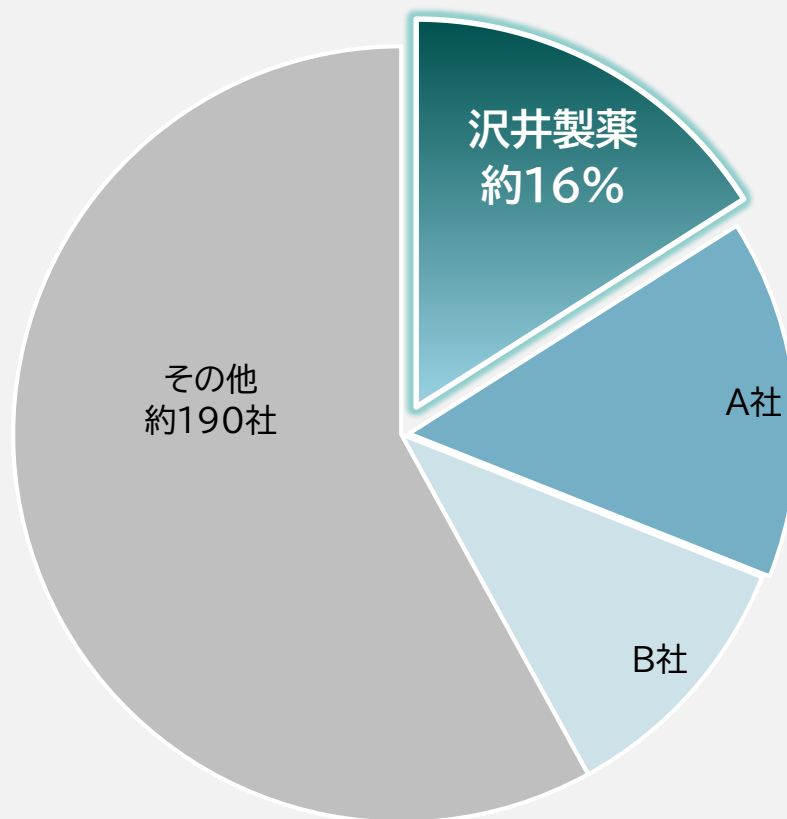


- 薬価下落により業界全体の収益性が悪化



- 今後業界の淘汰、再編が進むと予想

現在のジェネリック業界マーケットシェア



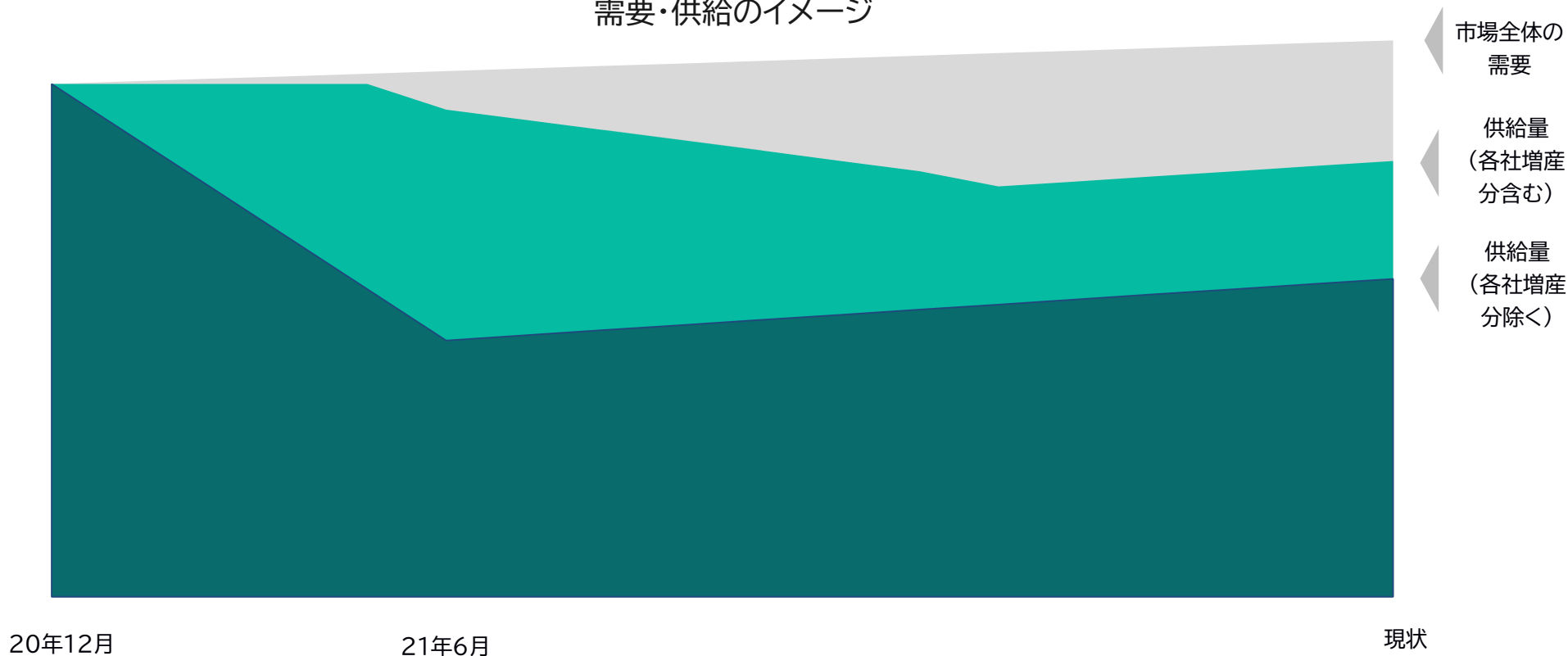
*シェアは当社推計値

3. 医薬品の供給問題

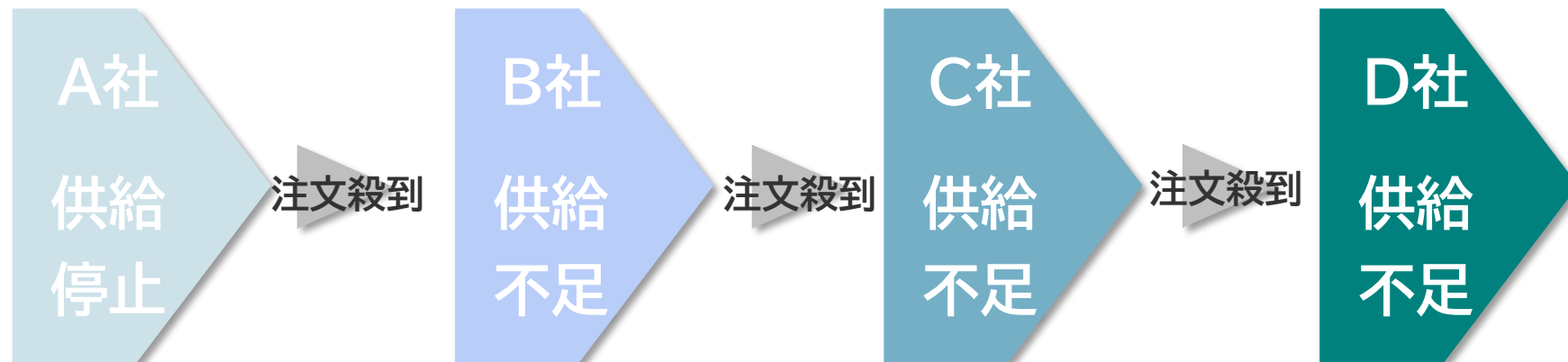
— 昨今の医薬品の供給不足について①

- 2020年12月以降ジェネリック医薬品企業の相次ぐGMP(法令)違反が発生
行政処分による供給停止にともない、供給不足が発生
- 当社含め増産対応するも市場全体の需要には対応できない状況

需要・供給のイメージ



- 出荷停止により同じ成分を発売するほかの会社に注文が殺到
- 玉突きの供給不足が発生



- 以下の理由から急な増産体制の整備は現実的ではない

800品目を超える
多品種少量生産

複雑な生産計画

生産キャパシティを
超える需要



サワイの強み



- できるだけ早くジェネリック医薬品を販売することで医療費削減に寄与
- 集積された調査・分析力で他社に先駆けた販売を実現し、高い市場シェアを獲得



過去のケース

- ◆ 先発品の用途特許について特許無効審判を請求、無効審決となり先行発売
- ◆ 特許を回避して製剤化を実現

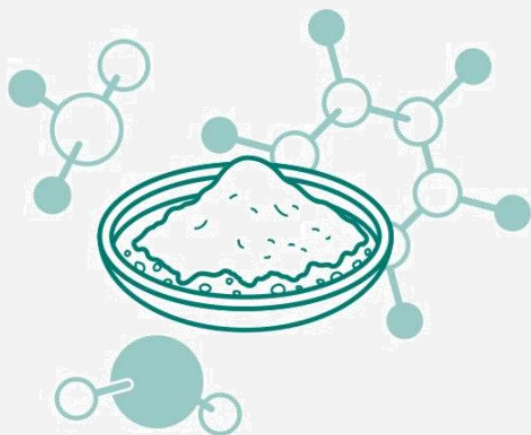
※ 医薬品の特許には以下の特許がある
物質特許 用途特許 結晶形特許 製法特許 用法用量特許 製剤特許

- 患者さんや医療関係者の皆さんの声を生かした製薬に注力



原薬選び

- ◆ 厳しい規格をクリアする良質なものだけを選定
- ◆ サワイでは、厚生労働省が定めるものより厳しい自主基準に適合した原薬を使用
- ◆ 高い品質を守るため、原薬の段階からその物性(性質や状態)なども徹底的に分析し、厳選



製剤化研究

- ◆ サワイジェネリックの研究開発のポイント
・タイムリーでスピーディーな開発かつ
・新薬と同じ有効成分・同等の効き目で、さらにより良い品質の医薬品を作ること
- ◆ サワイジェネリックのオリジナル製剤技術を集約したSAWAI HARMOTECH®



- サワイ独自の製品開発力を生かし、服用しやすさに注目したお薬を製造



お薬を飲みやすくする工夫



コーティングで
苦味を軽減



飲みやすい
大きさ、形に



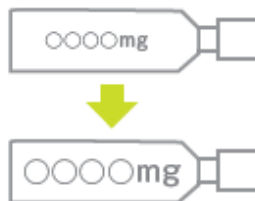
水なしでも飲める
お薬に



お薬を扱いやすくする工夫



お薬の名前を
表示



表示を大きく



お薬を
取り出しやすく

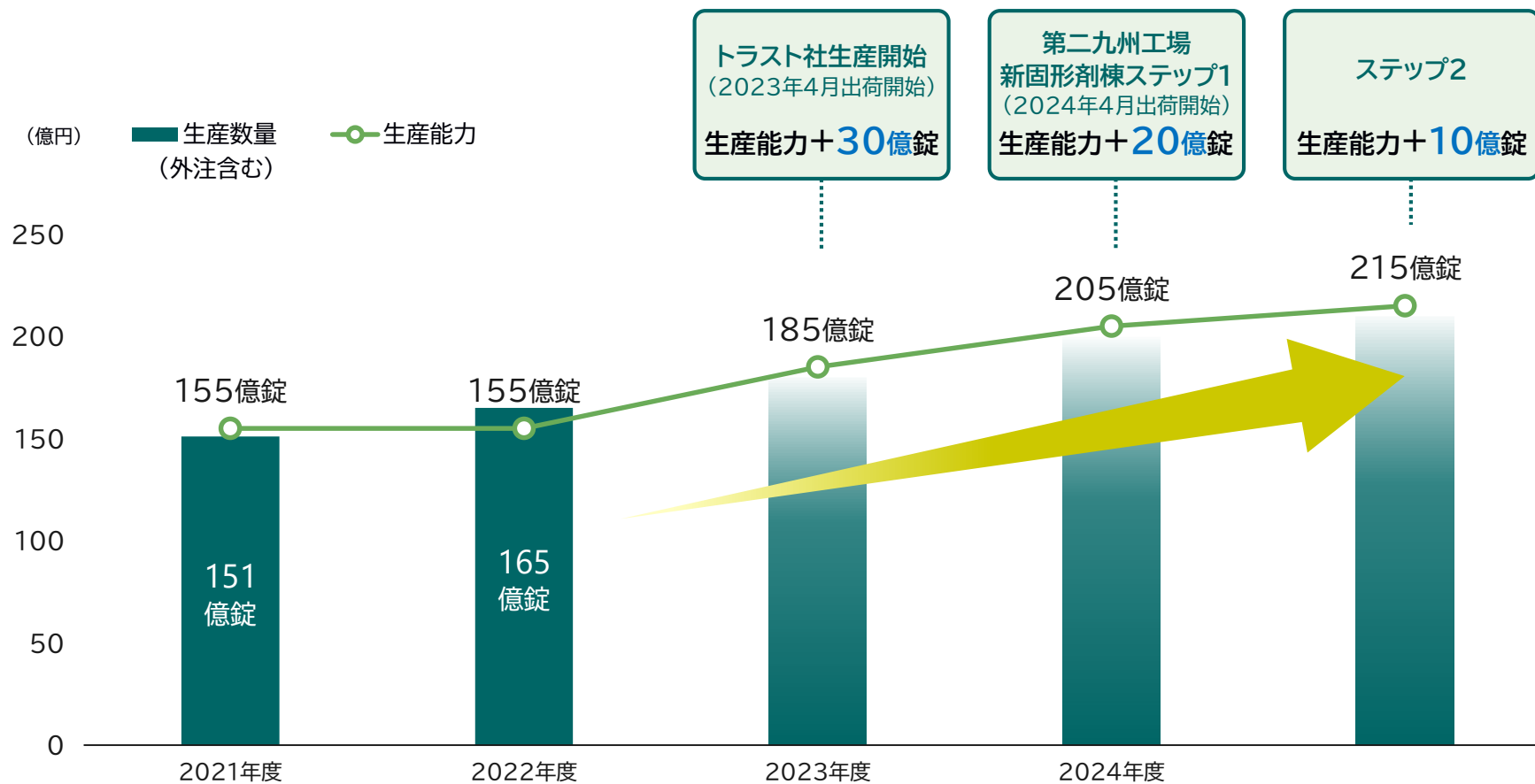
当社製品

約800品目の製品ラインナップ
生活習慣病用剤から抗がん剤まで、幅広い疾患に対応





- 業界随一の供給力
- さらなる増産により国内ジェネリック市場内でのシェア拡大



国内ジェネリック市場シェア拡大に向けた取り組み ～トラストファーマテック株式会社について



- 小林化工の生産活動に係る資産及び関連部門人員の譲り受けを目的にトラスト社を設立
- 3月末日に医薬品製造に係る資産を譲受
- 同社工場での初出荷は2023年4月を予定

■ トラスト社の概要

設立年月日	2021年12月3日
主な事業内容	医療用医薬品の製造
本社所在地	福井県あわら市矢地5-15
代表取締役	蓮尾 俊也(はすお としや)
従業員数	403名(2022年4月1日現在)
生産能力	30億錠

■ 今後のスケジュール



PV : プロセスバリデーション(Process Validation)

■ 製造・研究施設



国内ジェネリック市場シェア拡大に向けた取り組み ～第二九州工場 新固形剤棟建設



- 2021年10月に第二九州工場の新固形剤棟建設投資を決定
- 生産能力は、ステップ1・ステップ2合計で30億錠、初出荷は2024年4月を予定

本件の概要

目的	需要増加、今後のジェネリック医薬品のさらなる市場拡大に対応するため
名称	第二九州工場 新固形剤棟
所在地	福岡県飯塚市平恒1144-3
投資額	ステップ1：約350億円 ステップ2：約55億円
生産能力	ステップ1：2024年に20億錠追加 ステップ2：10億錠追加 (ステップ2は、他社を含む市場の動向、 当社新製品開発状況等を勘案し遅滞なく実施)
新規雇用 予定人数	ステップ1：330名 ステップ2：490名(ステップ1を含む総人数)



今後のスケジュール



国内における供給体制



九州工場（福岡県飯塚市）
敷地面積70,351㎡
生産能力22億錠
就業人数 約380名



三田工場（兵庫県三田市）
敷地面積14,686㎡
生産能力48億錠
就業人数 約240名



三田西工場（兵庫県三田市）
敷地面積23,136㎡
就業人数 約130名
※包装のみを実施



鹿島工場（茨城県神栖市）
敷地面積146,200㎡
生産能力30億錠
就業人数 約320名



第二九州工場（福岡県飯塚市）
敷地面積60,395㎡
生産能力20億錠 / 就業人数 約340名
▶2022年9月より新固形剤棟建設開始
最終的には30億錠の生産力追加を計画



トラストファーマテック（福井県あわら市）
敷地面積89,150㎡
生産能力30億錠
就業人数 約403名



関東工場（千葉県茂原市）
敷地面積135,857㎡
生産能力35億錠
就業人数 約520名



- 原薬や添加剤の選定から、製造過程、販売後に至るすべての工程において 国の基準を上回る基準を設けて、品質管理を徹底



沢井製薬の品質に対する取り組みや考え方、教育体制などについて、動画でご紹介しています



【動画掲載URL】

https://www.sawai.co.jp/sawaigenerics/initiatives/quality_movies/

1. サワイグループの概要
2. 「ジェネリック医薬品」とサワイの存在意義
3. 製薬業界を取り巻く環境とサワイの強み
4. **社会課題解決に向けた取り組み**
5. 成長戦略、株主還元

- ジェネリック医薬品事業を軸に、製薬企業、製造業としてさまざまな取り組みを実行



3 すべての人に
健康と福祉を



目標3:すべての人に健康と福祉を
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

- ・SDGs17の目標のうち「目標3」を重点目標とし、ジェネリック医薬品事業を通じて達成に貢献
- ・今後、ジェネリック医薬品以外の新たな事業やアメリカでの事業拡大により、国内外に貢献範囲を広げていく

- すべての患者さんが安心・安全にお薬を利用してもらうための製品品質の担保



製品付加価値の追求

高齢者に多い骨粗しょう症のお薬において少ない指の力で錠剤が取り出せるようにパッケージを開発



包装資材への再生紙利用



箱の素材に再生紙を使用することにより、2018年度において、バージンパルプ※を使用した場合に比べ、4,725本の木材資源の節約を実現 ※バージンパルプ:木材を材料にして製造した新しいパルプ

徹底した品質管理／人財育成・教育



- さまざまな病気や予防についての正しい情報や幅広い世代に向けた有益なヘルスケア情報を発信



病気や健康についてともに考えるシンポジウムやセミナーへの協賛、医療の最前線で正しい医療情報を発信するテレビ番組への提供



患者さん向けの小冊子



工場見学や協賛活動を通じた地域貢献



「サワイ健康推進課」

コーポレートサイトを含む様々なオウンドメディアや動画コンテンツ、SNSなどを通じて、サワイのオリジナルキャラクターや独自のヘルスケア情報を発信



約100年前、澤井薬局を開業した「澤井乃よ(さわいのよ)」に焦点を当て、沢井製薬の原点に立ち返った企業広告「サワイジェンダーアクション」は第71回日経広告賞において、「日経ウーマンエンパワーメント広告特別賞」を受賞

- グループ内を横断する「グループサステナビリティ委員会」を設置
- 取り組み状況をコーポレートサイトに公表



「サワイ4Cイニシアチブ」

サステナビリティビジョンを掲げ、持続可能な未来へ
向けたアクションを実行(沢井製薬)



「ESGデータ」の公表



企業理念

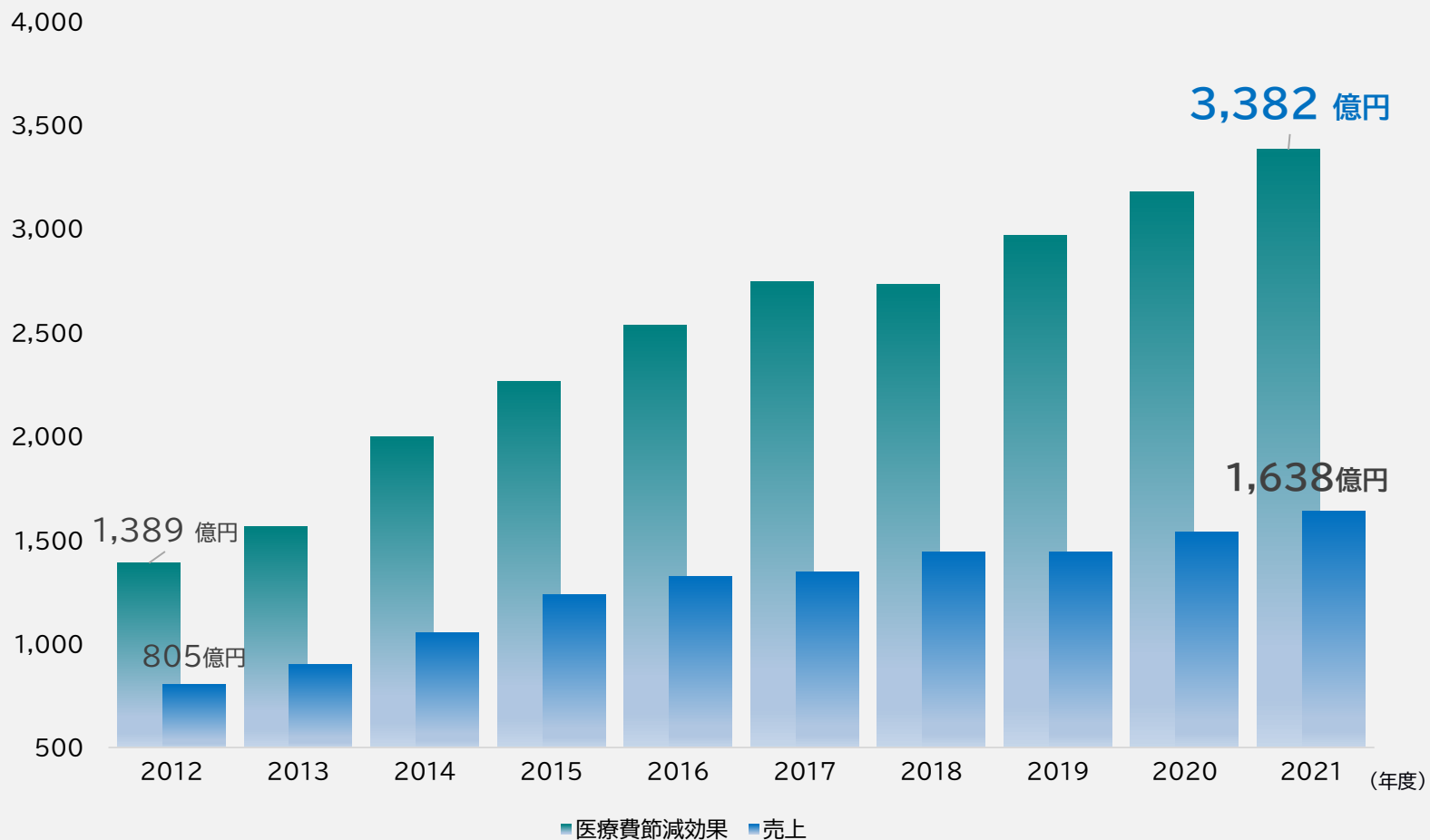
なによりも健やかな暮らしのために

ビジネスモデル

患者さんの健やかな暮らしの実現と医療費節減による持続可能な社会への貢献
社会課題解決への取り組みを通じて成長を実現

- これまでに約**3,382億円**の医療費削減に寄与

沢井製薬の製品による医療費節減効果



1. サワイグループの概要
2. 「ジェネリック医薬品」とサワイの存在意義
3. 製薬業界を取り巻く環境とサワイの強み
4. 社会課題解決に向けた取り組み
5. 成長戦略、株主還元

2030年度のVision

ジェネリック医薬品事業を中核に、社会と共に持続的に発展するヘルスケア企業グループとして、ひとりでも多くの人々の健康に貢献するための将来ビジョン

長期ビジョン

創りたい世界像

より多くの人々が身近に
ヘルスケアサービスを受けられ、
社会の中で安心して
生き活きと暮らせる世界



ありたい姿

個々のニーズに応じた、
科学的根拠に基づく製品・サービスを
複合的に提供することで、
人々の健康に貢献し続ける
存在感のある会社

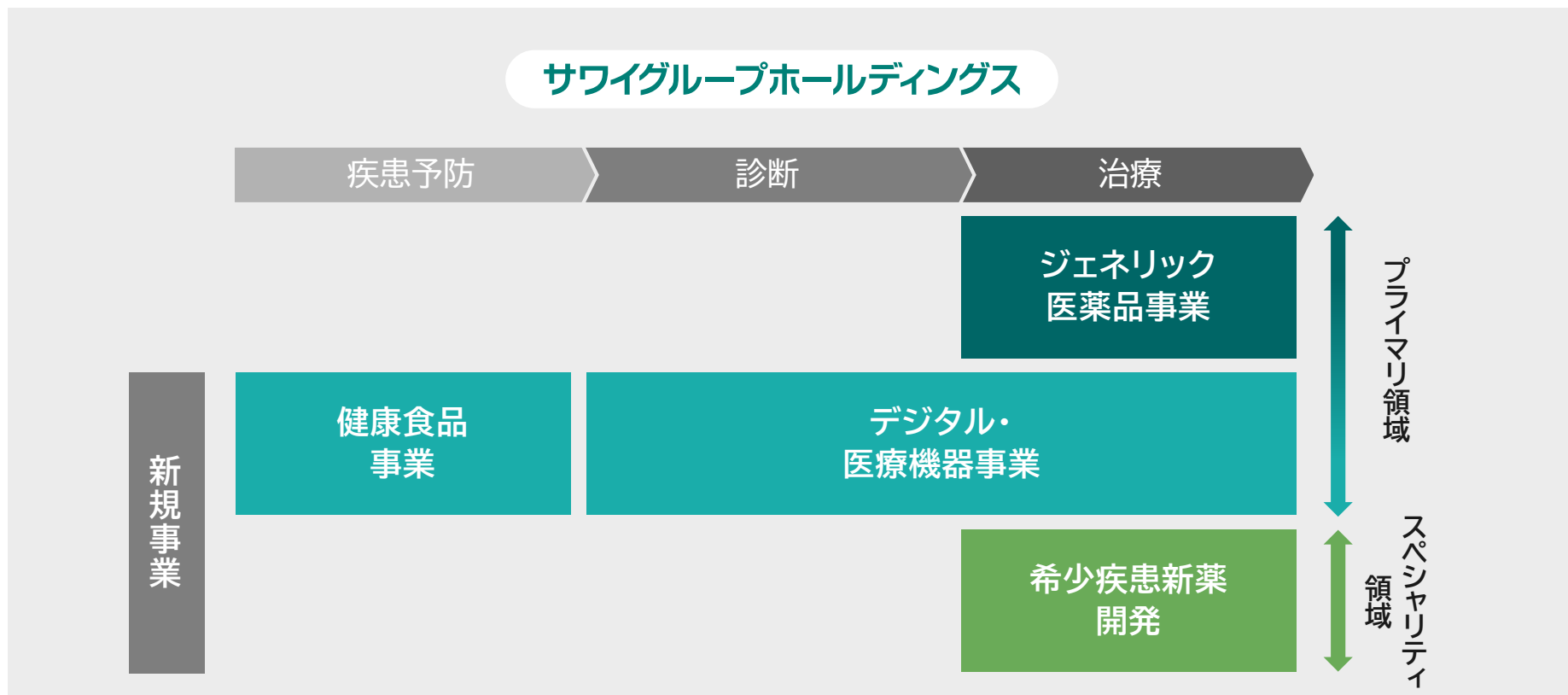
(円/\$ = 100)

目標及び前提数値

		2021年度実績	「Vision 2030」 2030年度
日本事業	売上収益	1,638億円	2,600億円
	販売数量	148億錠	200億錠
	販売数シェア	16.3%	20.0%以上
	生産能力	155億錠	230億錠以上
新規事業	売上収益	—	800億円
米国事業	売上収益	300億円	600億円
売上収益合計		1,938億円	4,000億円
ROE		—	10%以上

ジェネリック医薬品事業を中核に新規事業も育成

プライマリ領域において、予防から治療まで幅広い範囲で、薬剤治療に限らない選択肢を提供
また、これまでにない治療機会を提供すべく、希少疾患領域の新薬開発事業にも参入



ジェネリック医薬品 事業



新規事業への進出

1 国内GE市場におけるシェア拡大

- 新製品の売上増加
- 安定供給力の強化

2 米国事業における将来の成長に向けた事業投資

3 新たな成長分野の開拓

- デジタル・医療機器事業
- オーフアン医薬品事業(ALS等)
- 健康食品事業

米 国 事 業

目指す姿

- スペシャリティGE医薬品企業として、独自の販売力を活かせるGE医薬品、ブランドジェネリック、ブランド薬にフォーカス
- 持続的で長期に亘る成長を推進

成長戦略

- 既存ブランド薬の販売を促進。USLの知名度を活用し収益を拡大
- 製品コストダウン施策による利益率の増加
- ニッチなジェネリック医薬品を中心に製品ラインナップの充実
- 提携によるパイプラインの強化

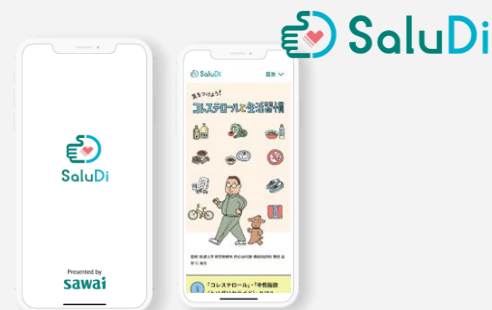
新 規 事 業

デジタル・医療機器事業



片頭痛・うつ病向けデジタル医療機器 Nash領域におけるDtx※1

※1 Digital Therapeuticsの略。ソフトウェアを用いた治療のこと



PHR※2管理アプリ「SaluDi」

※2 パーソナルヘルスレコード。日々の健康状態の記録・管理、
オンライン診療予約、未病・予防対策情報閲覧の機能を搭載

新薬事業(希少疾患)

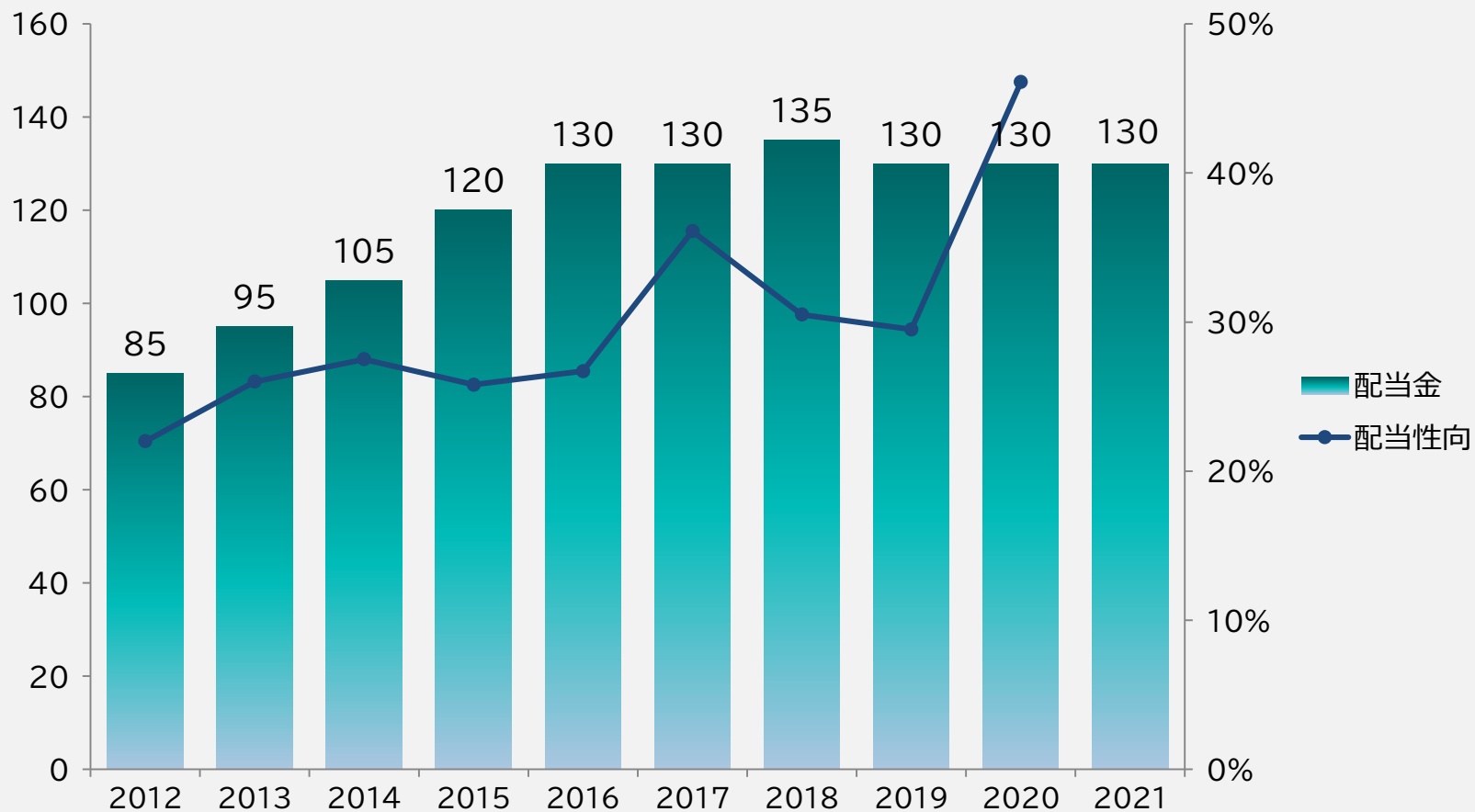


健康食品事業



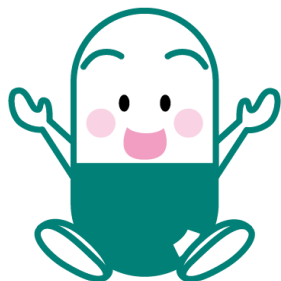
株 主 還 元

- 配当性向30%を目途とした、安定配当を実施



※2013年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
これに伴い、2013年度の期首に株式分割を行ったと仮定。2012年度はその分割を考慮し、再計算した金額を掲載

ご視聴ありがとうございました



サワイ IR

検索

IR情報メール配信サービス

<https://www.sawaigroup.holdings/ir/mail/>



最新の適時開示等、当社IRに関する情報について、
ご登録いただいたメールアドレスにお知らせいたします。

- 本資料に記載されている弊社グループの計画・予測・戦略などにつきましては、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断にもとづくものです。従って、潜在的リスクや不確定要素により、実際の業績と異なる可能性があります。
- 潜在的リスクや不確定要素には、弊社グループの主たる事業領域であります医療用医薬品を中心とした経済環境、市場における競争状況、弊社グループのサービス等が考えられますが、これらに限定されるものではありません。

なによりも健やかな暮らしのために

サワイグループ
ホールディングス株式会社

